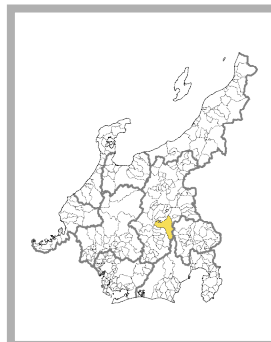


伊那市(長野県): イーナちゃんバス

利便性の高い市街地型コミュニティバス

人口	71,788 人	モード	コミュニティバス
面積	667.81 km ²	法令	道路運送法 第4条および (旧)21条
人口 密度	107.49 人/km ²	運営 主体	伊那市



■ 取組の背景

地域と交通の状況

- ・ 東に南アルプス、西に中央アルプスがあり、その間を流れる天竜川や三峰川沿いに平地が広がっている。市内を南北に走る中央自動車道や国道 153 号、JR 飯田線などの幹線交通網が整備され、東京・名古屋のほぼ中間に位置していることから、商工業にとって優良な立地条件となっている。電気、精密、機械、食品などの製造業が発展し、国内有数の電子産業エリアを目指す伊那テクノバレー圏域の中核都市として、いくつもの工業団地が形成されている。
- ・ 平成 18 年 3 月に合併した旧 3 市町村ごとに公共交通施策が実施されていたが、様々な交通の種類が存在してわかりにくかったこと、また、少子高齢化の進展等による利用者の低下なども見られた。河岸段丘等による地形の起伏が大きく、山間部にも集落が点在していることもあり、新伊那市全体としての公共交通網再編が求められていた。

【市町村合併による交通再編】

活用メニュー(制度・協議会等)

- ・ 平成 18 年 9 月に採択された公共交通活性化総合プログラムを利用して、公共交通網再編事業に着手した。
- ・ 平成 18 年度には、長野県の「コモンズ交通システム支援事業補助金」制度を活用した。この制度は、廃止路線代替バスを運行している市町村が、住民が望む地域の新たな交通システムを再構築するために行う事業に対して補助支援するものである。補助率は 3 分の 1 である。

【公共交通活性化総合プログラム】【都道府県の補助(バス)】

■ 実現したサービス

サービス内容

- ・ 市の公共交通網の一つである市街地循環バスは、伊那市から伊那バスに運行委託されている外回り路線(イーナちゃんバス(平成 9 年度より試験運行、平成 10 年度より本格運行))と、伊那バスが独自に事業運行している内回り路線(事業者が平成 13 年 3 月より独自運行)の市街地循環型コミュニティバスである。乗車 1 回あたり 100 円の運賃で、40 分に 1 本の間隔で運行されている。経路は、駅、市役所など市民の生活に必要な主要施設を中心に、市街地各地を経由する利便性の高いものとなっている。
- ・ 商店街で一定金額以上の買物をする、イーナちゃんバスに無料乗車できる特典があるなど、地元商店街とタイアップした取り組みがある。
- ・ 内回り路線は、市から運行委託されていた外回り路線が利用者に好評であったため、事業者が独自に路線営業を開始したものである。両方向の運行により、利用者の利便性はさらに向上した。

【市街地循環バス】【他主体連携】

■ 効果と負担

効果

【利用者数の増加】

- 市街地循環バスは運行開始直後から利用者増加にあり、平成 12 年度には年間利用者数が 10 万人を超えた。近年はやや減少したが、8 万人前後で推移している。1 便平均乗車人員は、約 12 人である。

負担

【市町村負担】

- 交通対策に充当する予算は、年間約 1 億円(バス事業には約 8,500 万円)となっている。そのうち、イーナちゃんバスの運行費は約 1,600 万円、運賃収入は約 700 万円であり、市の負担は約 900 万円である(平成 18 年度実績)

■ プロセスと調整

公共交通再編の基本方針

【プロセス:目標設定】

- 伊那市の公共交通再編にあたっては、路線や機能が重複している路線の見直しなど「統合可能路線の整理・効率化」、旧市町村間で異なる基準で整備されてきた交通施策の「地域間バランスの調整」、高齢者など現行利用者の利便性を著しく損ねないための「現行体制の踏襲」、投入費用の制約による「地域ごとの濃淡付け」「低採算路線の廃止・見直し」、を基本方針として進められている。イーナちゃんバスも、その中でレベル A に位置付けられたものである。

- ◆ レベル A : 1 週間を通じて毎日、1 日の中で選択性を持って、ある程度自由に移動が可能。
(→毎日運行、平日 10 往復、休日 5 往復程度)
- ◆ レベル B : 1 週間を通じて毎日、通学・通勤などの固定的な利用に対応できる。
(→毎日運行、朝夕時をカバーした平日 5 往復、休日 3 往復程度)
- ◆ レベル C : 平日毎日、通学・通勤などの固定的な利用に対応できる。
(→月～金、朝夕時をカバーした 5 往復程度)
- ◆ レベル D : 平日毎日、通院、買物等の用を足せる。
(→月～金、日中のみ 2～3 往復程度)
- ◆ レベル E : 1 週間のうちに何回か、通院、買い物等の機会が持てる。
(→曜日別運行、日中のみ 2～3 往復程度)
- ◆ レベル F : 公共交通なし。移動手段は個人単位で確保、もしくは福祉的観点から個別対応。

図. 伊那市におけるエリア毎のサービス水準の考え方

出典：伊那市地域公共交通会議資料

■ 創意工夫・知見・教訓

需要に応じた運賃値上げ

【知見:需要に応じたサービス供給】

- 平成 20 年 4 月に、市の基本方針に沿った見直しが検討されている。路線の統廃合、イーナちゃんバスの運賃 150 円への値上げ、などが実施されるとともに、木曾町との間の路線バス(平成 18 年 2 月に開通した権兵衛トンネルを利用)、伊那西部地区での乗合デマンドタクシーなど新方式の導入などが予定されている。需要に応じたサービス供給が行われている。

■ 連絡先、参考 URL 等

連絡先：伊那市総務部政策推進課 電話 0265-78-4111

■ 資料編

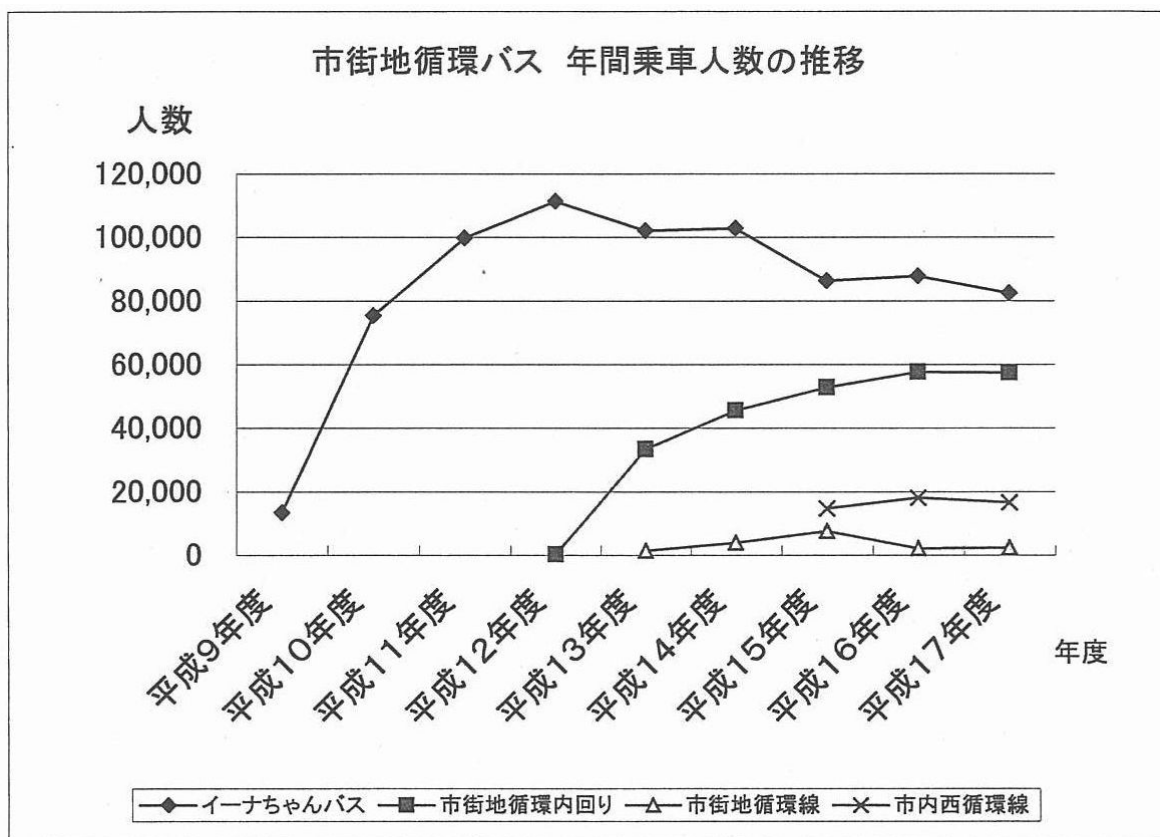


図. 年間乗車人数の推移

出典：伊那市資料

■ 資料編

表. 伊那市におけるバス路線一覧

運行形態	運行路線名	始発点	経由地	終発点	運行主体	運行本数
①市街地循環バス	外回り(イーナちゃんバス)	伊那営業所	ベルシャイン前	伊那営業所	伊那市	毎日19便
	内回り	伊那営業所	ベルシャイン前	伊那営業所	伊那バス	毎日13便
	市内西循環線	アピタ伊那	伊那中央病院	アピタ伊那	伊那バス	毎日6便
	JR循環バス(高遠線の一部)	高遠駅等	伊那営業所	高遠駅等	JRバス	毎日2便
②地区循環バス	手良・福島方面	伊那営業所	手良農協前	伊那営業所	伊那市	週2日(月・木)、1日2便
	内の萱・城南町方面	伊那営業所	内の萱会所前	伊那営業所	伊那市	週1日(月)、1日2便
	新山方面	伊那営業所	折戸	伊那営業所	伊那市	週2日(月・木)、1日2便
	富県・東春近方面	伊那営業所	南福地	伊那営業所	伊那市	週3日(月・水・金)、1日2便
	西箕輪方面	伊那営業所	吹上	伊那営業所	伊那市	週1日(木)、1日2便
	西春近方面	伊那営業所	赤木	伊那営業所	伊那市	週2日(月・金)、1日2便
	みはらしの湯・中央病院直行便	伊那営業所	伊那中央病院	みはらしの湯	伊那市	週4日(月・水・木・金)、1日2便
③長谷地区循環バス	長谷循環	杉島	美和診療所	高遠駅	伊那市	毎日7~9便
④その他路線バス	三義線	高遠駅	関屋橋	高遠駅	伊那市	週5日(月~金)、1日6~7便 (うちスクールバス2便)
	横山・ますみヶ丘線	本社前	発電所前	ますみヶ丘	伊那市	毎日4便(土・日運休)
	若宮・美原線	アピタ伊那	美原入口	アピタ伊那	伊那市	毎日8便(日運休)
	西箕輪線	本社前	与地南	本社前	伊那バス	毎日11便(日運休)
	新山線	本社前	上原	折戸	伊那バス	毎日4~6便(上下計)(土・日運休)
	伊那本線	本社前	追分	辰野駅前	伊那バス	毎日18便(上下計)(土・日運休)
	高遠線	高遠駅等	新子	伊那中央病院等	JRバス	毎日18~27便(上下計)
	茅野・藤澤線	高遠駅	荒町	古屋敷駅	JRバス	毎日8~14便(上下計)
⑤循環タクシー	東高遠・勝間コース	高遠駅前公園	食彩館前	高遠駅前公園	伊那市	週3日(月・水・土)、1日2~5便
	小原・下山田・上山田コース	高遠駅前公園	押出公民館前	高遠駅前公園	伊那市	週3日(月・木・土)、1日2~5便
⑥福祉バス	美和地区	黒川駅	美和病院前		伊那市	平日、1.5~2.5往復
	伊那里地区	伊那里診療所	馬越等	浦・岩入・柏木等	伊那市	週1日(火・水・木で別地区に対応) 1日1~2往復

:運行主体が伊那市

:運行主体が伊那市以外

①市街地循環バス

- 市街地循環バスは、伊那市の中心市街地で、外回り(イーナちゃんバス)、内回りが運行されている。
- また、天竜川西側では、市内西循環線が運行されている。
- JRバスの市街地循環も運行されている。

②地区循環バス

- 地区循環バスは、西箕輪方面、横山・ますみヶ丘方面、手良・福島方面など7路線運行されている。

③長谷地区循環バス

- 長谷地区循環バスについては、長谷循環が1路線運行されている。

④その他路線バス

- その他路線バスが、高遠町地区や南箕輪村方面など8路線運行されている。

⑤循環タクシー

- 高遠町地区では、東高遠・勝間コース、小原・下山田・上山田コースの2路線で循環タクシーが運行されている。

⑥福祉バス

- 福祉バスは、診療所および保育園への送迎を目的として、長谷地区の美和地区、伊那里地区で運行されている。

出典：長野県伊那地域における新たな公共交通ネットワークの構築に関する調査報告書